



### 1 計画の基本理念と基本目標

#### □ 基本理念

力を合わせて  
地域福祉で安心して暮らせるまちづくり



第4次活動計画では、第3次活動計画を受け継ぎ、子どもから高齢者まで年齢や障がいのあるなしなどの違いにかかわらず、誰もが安心して暮らし続けられるように、それぞれが持っている力を発揮し、共に支え合いながら、住み慣れた地域で **ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ(ふくし)に協働で取り組めるまちづくりを目指しています。



## □ 3つの基本目標

基本理念を実現するため、次の基本目標を設定し、地域福祉活動に取り組みます。

### (1)ひとづくり

①見つける ②育てる ③活かす

地域で共に暮らしていくためには、お互いの違いを認め合い、誰もが自分らしく共に生きることができるよう、みんなで協力しあうことが大切です。

地域社会のつながりが希薄化し、地域に対する関心が低下している今、多種多様な生活の困りごとについて周囲に理解してもらい、活動の参加につなげるために、地域住民の意識啓発を図る「ひとづくり」に取り組みます。

### (2)つながりづくり

①出会う ②ふれあう ③響きあう

現在は、地域での助け合いの風土が薄れ、交流の場が減っています。

一方で、地域には様々な困りごとを抱えた人が生活しており、そうした人たちが気軽に参加できる活動や交流の場も十分ではありません。

そのため、いろいろな立場の人や団体などが出会い、交流を深める場を広め、いざという時に助け合える関係を再構築し、新たなつながりが生み出されるよう「つながりづくり」に取り組みます。

### (3)まちづくり

①広める ②支える ③高める

現在も民生委員児童委員や地区社協、ボランティア団体、福祉サービス事業所など多くの方々が地域福祉活動に取り組んでいます。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで地域で進めてきた取り組みが停滞したり、新たな福祉課題が生じています。

こうした状況を踏まえ、地域福祉活動に取り組む住民や団体、企業や社会福祉法人など、それぞれの活動の特徴を活かし、ネットワークをつくって、住民一人ひとりが安心して暮らせる「まちづくり」につなげていきます。

# 2

## 第4次福井市地域福祉活動計画 体系

基本理念

地域福祉で安心して暮らせるまちづくり  
力を合わせて

目 標

1 ひとづくり

2 つながりづくり

3 まちづくり

活 動 の 柱

1 見つける

2 育てる

3 活かす

1 出会う

2 ふれあう

3 響きあう

1 広める

2 支える

3 高める



## 取 り 組 み

No.	具 体 的 な 内 容
1	福祉への理解を広めて新たな人材を発掘する
2	趣味、特技を活かした人材を発掘する
3	地域を基盤とした福祉教育で小・中学生の心を育む
4	地域の見守り、支え合いへの理解と共感を育む
5	高校生・大学生が気軽に関われる地域福祉活動を広める
6	SDGs を踏まえた企業・社会福祉法人等の社会貢献活動を広める
7	いろいろな立場の人たちとの情報交換・交流を深める
8	障がい者等の文化・芸術活動の参加と広がりをつくる
9	世代をこえた出会い、ふれあい、学び合いの機会をつくる
10	誰でもいつでも集える場でのふれあいを広げる
11	新たなアイデアを共有する地域福祉活動の発表の場を開く
12	地域福祉活動に参加する30～50歳代を増やす
13	ICTを活用してあらゆる世代に福祉の情報を広める
14	コロナ下でも安心してつながれるノウハウを広める
15	福祉委員の想いを新たな見守り・支え合い活動につなげる
16	ふだんの見守り・支え合いと防災が一体の活動モデルをつくる
17	住民参加を高めるためのコーディネーションの手法を広める
18	福祉サービス事業所と住民が地域福祉でできることを考える